

## 新型コロナウイルス感染症対策

# 国内での感染が増加 町の予防対策は――

国内で新型コロナウイルス感染症の不安が急速に広まっていることから、町は2月25日に対策本部を設置し、予防対策を図っています。

中華人民共和国湖北省武漢市

で、新型コロナウイルス関連感染症（肺炎）が発生し、国内でも複数地域で感染が報告されています。現時点では、まだ大規模な感染拡大は認められていませんが、まさに今が、今後の国内での健康被害を最小限に抑える上で、極めて重要な時期となります。感染の流行を早期に終息させるため、正しい情報に従い、一人一人が予防対策にしっかりと取り組んでいきましょう。

町の健康づくりアドバイザーである、東京慈恵会医科大学の浦島充佳先生は「手洗い・うがい・マスクの着用など、普通の感染症と

同様の予防法で良い。一番大切なのは、「こまめな換気」と呼びかけています。

空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下します。乾燥しやすい室内では、加湿器などを使って、適切な湿度（50～60%）を保ちましょう。また、こまめに水分をとることで、のどが潤い、感染予防につながります。

また、マスクは、咳やくしゃみによる病原体の飛沫や飛散を防ぐ効果が高いとされています。これらの症状のある人は、積極的にマスクをつけましょう。

一方で、マスクの予防性については注意が必要です。混み合った

浦島 充佳さん

profile 東京慈恵会医科大学教授。現在「報道ステーション」など多数メディアに出演。震災後、桑折町放射線健康リスク管理アドバイザー、健康づくりアドバイザーを務める

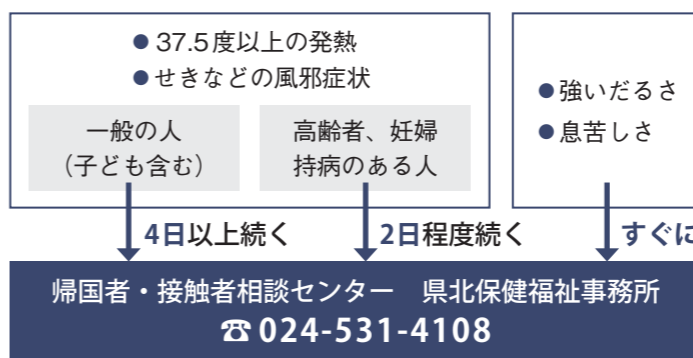


町は、国の方針に基づき、県保健福祉事務所や関係機関と緊密に連携して、引き続き適切な対応を進めていきます。

事態の進行や新たな科学的知見に基づき、その都度方針を更新し、回覧文書や町ホームページなどで、最新の対策をお知らせしていきます。

健康福祉課 健康増進係  
☎ 582-1133

### 相談・受診の目安



## 町で対策本部を設置 町内での感染防止を徹底する

新型コロナウイルス感染症の国内での感染が増加し、町内でも不安が急速に広まっていることから、「桑折町新型コロナウイルス感染症対策本部」を2月25日に設置しました。

町は、より一層適切な情報提供に努めていきます。町民の皆さまには、風邪や季節性インフルエンザへの感染予防対策として行ってきた咳エチケットや手洗いなどの徹底に努めていただきますようお願いいたします。

また、町内での患



桑折町長 高橋宣博

者発生を防止するため、当面の間、町などが主催する不特定多数が集まるイベントについては、中止または延期とする場合があります。

各イベントを楽しみにお待ちいただいていた皆さまには、大変申し訳ございませんが、ご理解いただきますようお願いいたします。

### 「 Q 」 and 「 A 」

Q、新型コロナウイルスには、どうやって感染しますか？

A、現時点では、**飛沫感染と接触感染**の2つが考えられています。**【飛沫感染】**感染者のくしゃみ・咳・つばなどと一緒にウイルスが放出され、他の人がそのウイルスを口や鼻から吸い込んで感染します。**【接触感染】**感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつきます。他の人がそれを触れるとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ると粘膜から感染します。

Q、新型コロナウイルスに感染すると、どんな症状が出ますか？

A、**発熱やのどの痛み、咳が長引き（1週間前後）、強いだるさ**を訴える人が多いことが特徴です。感染から発症までの**潜伏期間は、1日から12.5日（多くは5日、6日）**といわれています。重症化すると肺炎となり、死亡例も確認されているので注意しましょう。特に高齢者や持病のある人は重症化

しやすい可能性が考えられます。

Q、風邪のような症状があり、心配です。どうしたらいいですか？

A、発熱などの風邪の症状があるときは、学校や会社を休むなど、外出を控えてください。また、毎体温を測定し、記録しましょう。

Q、感染症かも？と思ったら、どうしたらいいですか？

A、【風邪のような症状や37.5度以上の熱が4日以上続くとき】または【強いだるさや息苦しさがあるとき】は、最寄りの保健所などにある「**帰国者・接触者相談センター**」に電話で相談しましょう。桑折町の場合は、県北保健福祉事務所（☎531-4108）が窓口になります。症状がこの基準に満たない場合は、かかりつけ医や近隣の医療機関に相談してください。

Q、「帰国者・接触者相談コーナー」に相談すると、どうなりますか？

A、電話での相談を踏まえて、感染の疑いがある場合には、必要に応じて、新型コロナウイルス感染

症患者の診察ができる「帰国者・接触者外来」を確実に受診できるよう調整します。複数の医療機関を受診せず、上記で紹介された医療機関を受診してください。受診するときは、マスクを着用し、手洗いを徹底しましょう。

Q、感染予防のためにできることは何ですか？

A、以下のことを心掛けましょう。  
①石鹸やアルコール消毒液などによる手洗い ②正しいマスクの着用を含む咳エチケット ③高齢者や持病のある人は公共交通機関や人混みを避ける

（出典：厚生労働省「新型コロナウイルスQ&A」2月22日時点版）

**Information**

- 3月2日「ゲーデ・ピアノ三重奏コンサート」▶ 中止
- 3月6日「全国山城サミットプレ大会総決起集会」▶ 延期（時期未定）